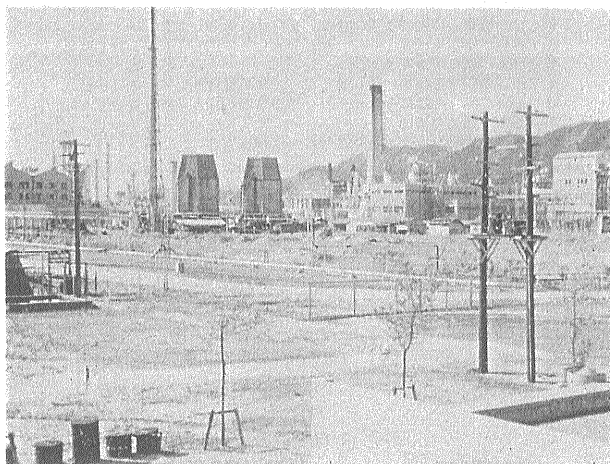


工場立地と水五則

1. 予定地周辺の水理を詳しく把握しておくこと
工場はとかくその敷地の外にでると至って弱気で無知に近い。しかし水は敷地の内も外も区別しないで流れている。とくに最近では内の水は外の水と関係もちやすい。だから川にしても地下水にしても 周囲の水理を詳しく知っているかいないかで補償問題がおこったとき 水源の拡張を要求されたときなどに大きな差が生じる。
2. 水はいきものに似ている おおいに可愛がるべきである
水ほど素直なものはない。ごまかしてもごまかし切れるものでない。デリケートな反応・動き・変化をみせる生きものに似ている。だからそれを調査するのにから手でやるのではうまくない。十分な時間と労力とお金をかけるべきである。たとえ技術的には専門家にゆだねても 工場の当事者は自分のうちのたからとして可愛がり 管理し 飼育するつもりでなくてはならない。水源保護に対する関心は是非たかめなければならない。
3. 水は自ら進んで求めなければならない
万物すべて棚からぼたもち式にいくものではないとくに工場構外に水を求めるに当っては 外部の事情にグッドタイミングをきかせて 障害を克服し 困難をおかして自ら進んで求める腹づもりが必要である 機先を制して手付金を払うぐらいのことは当然と考え 先取権を実績でとってしまうことが利用
- 度の激化するこれからはますます必要となろう。
4. 自分の水は十分に使え ただし他人の水を奪つてはならぬ
とかく地価の安い土地にはえてして水が乏しいきらいがある。水のえがたいところで 苦勞するより水代を含めたつもりで水の豊富な 少し地価の高いところに敷地を求める方がまさっている。
自分の敷地内の水は フルに開発・利用すべきである。しかし天然に支えられた限度がある。その限度をこしてまで他人の土地の分の水を強引に引っぱってとることは 道義的に許されないはずである
自分のところの井戸にもわるい結果を招くだろうしまわりからうらまれるときが おそかれ早やかれやうってこよう
足りない水は冷却塔なり 還流なり ほかに土地を求めるなり 水道の水をあがなうなりして補うべきである。
5. 経営者自ら水に深い関心をもつべきこと
一般の工場は水を生産するわけでない。しかしなくてはこまる水であってみれば 生産の合理化の上にもっと重視されてよいように思う。水源のかくとか・保護・計測器材・処理施設・運転管理などの面に 関係現場の人たちだけでなく 経営の主脳部 幹部の人たちがもっと理解を深め これに進んで投資し 希望をかなえてやる度量があつてよいと思う。

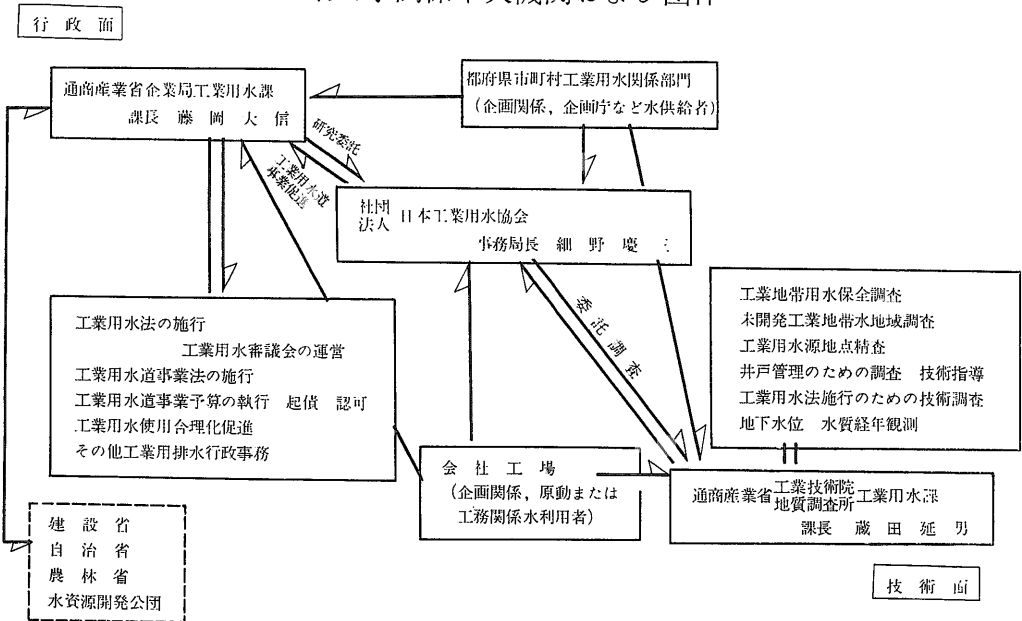


建設中の石油化学工場



製鉄所の平炉工場

工業用水関係中央機関および団体



武司 秀夫技官

武司技官 アメリカへ留学

鉱床部非金属課 武司秀夫技官はX線による結晶学の研究等のため 去る3月20日羽田から アメリカ ペンシルバニア州立大

学へ留学した 期間は 1カ年の予定



坂巻 幸雄技官

坂巻技官 アメリカのデンバー支所へ

鉱床部核原料資源課 坂巻幸雄技官はウラン鉱床・鉱物の研究のため 去る4月3日 羽田から アメリカ地質調査所デンバー支所へ出張した 期間は 6カ月の予定

水に濁し水を生む工業地帯
低下する日本の地下水位
ここにこんな問題が (千葉県工業用水)
京都市の工業用水
塩水化する日本の国土
急がれる適切な井戸管理
関東平野中央部の地下水源
産業の拡大が国土の保全か
東海に残された用水適地
地下水は公共のものである
太平洋臨海ベルト工業地帯のさく井適地
地下水かん養のための冷却排水の地下還元
上総掘りて観測井ができるまで

51
55
56
57
58
63
64
65
69
71
75
77
84

あとがき

- No. 90で予告しました 本誌創刊10周年記念号「日本の鉄鉱資源」は 編集と印刷の都合により 7月号に延期しました つつしんでおわび申し上げますと共に 記念号としての内容を充実したものにしたいと 考えております
- 本号は工業用水を特集いたしました 水の重要性については いまさら云々すべきではありませんが 当事者の皆様と一般読者の方々に再認識して頂くため
- 本号に限り表紙をカラーとしました (H生)

地質ニュースに掲載された水関係記事

地盤沈下の予防を目指す	No. 1
危機に直面する工業用水源	10
愛知用水計画と名古屋の工業用水	15
水を失う河川とその保全	25
私たちの生活と地質①井戸水	18
“ ” “ ” ④地盤の沈下	26
工業用水法いよいよ実施の段階に入る	33
首都圏の水をめぐって	36
水を支える地盤①・②	37・38
この水脈をからすな	47

地質ニュース

第92号 4月号

定価 ¥100 円12

昭和37年4月25日 発行

編集 工業技術院 地質調査所
 発行人 吉 富 保 重
 発行所 株式会社 実業公報社
 東京都千代田区九段4の11
 Tel. (331) 7173・9387
 振替口座 東京 32466
 印刷所 共同印刷株式会社